

感じ合おう！勝利をこえる喜びを！

学校長 森 愛子

いよいよ今週末は、運動会です。4月当初の徒競走のタイムの計測、リレーの選手決めから始まり、担任の先生方は学級づくりとともに、運動会に向けての取組に考えを出し合い、児童が主体的に関わり、意欲をもって活動できるものを作り上げてきました。

本番直前の今、練習の様子をお伝えします。

5・6年生団体演技「飛翔」の練習の際、ステージ上で指揮をとっていた担任が「飛翔は一人で踊ってもつまらないよね、みんなで合わせるから楽しいんだよね。」と言いました。観客としても、一糸乱れぬ集団美は大変感動するものではありませんが、踊っている子どもたちを見ていると、動きを合わせることを楽しんでいて、揃ったときは気持ちがいいようで「決まった！」と満足げな表情を浮かべています。「楽しんでやっぺいこう」という声かけをし、ステージ上の担任二人がしっかりと動きを合わせて、楽しんでいる姿を見本として示す。それにより、子どもたちが、自らもっと動きを揃えてばっちり決めようという意欲をもち頑張っていることを嬉しく思います。

3・4年生の「ソーラン」は、始めたばかりの頃は、中学年でのソーランに力強さを要求するのは無理かな、元気よく踊ることができたら十分なのではと思っていたところ、子ども達のかっこよく踊りたいという思いの強さと教師の熱意で最後まであきらめず努力し、低い姿勢での構えもでき、力強さが増しました。練習中、通りかかった2年生が「来年は、ぼくたちもソーランだ。」と誇らしげに言ったのが印象的でした。自分ももうすぐあんなふうになれると、上の子どもに憧れる気持ちをもつことが、子どもを大きく成長させるのです。

1・2年生の団体演技「レッツ ハピネス2016」では、一人ひとりのオリジナルな動きの部分やペアでの動きがあり、やや難しいことに挑戦したため、少し難航していましたが、ストーリー仕立ての曲なので、どんな場面かを理解するとともに、動きもしっかりと覚えることができるようになりました。運動会練習を通しての成長ぶりは、低学年ほど大きく、団体行動がスムーズにできるようになった上に、楽しんで自分の思いを表現することもでき、かわいらしいだけでなく、見応えのあるダンスとなりました。

運動会のスローガンは、「感じ合おう！勝利をこえる喜びを！」です。子どもたちは、勝ち負けだけでなく、皆で心をつなげて練習してきたことや実行委員会や係として準備してきたことなど、本番までの経過も含めて、多くのことを感じ、成長してきました。そして、運動会当日は、全力で駆け、演技し、応援する中で、互いに何を感じてくれるか、楽しみです。どうぞ、多くの方にご来校いただき、励ましの声をいただけたらと思います。お待ちしております。